

こども等への意見聴取の実施について

1 実施概要

	対象・人数	実施方法	実施期間	備 考
①	小学校3校（計17名）	・担当者4名程度で各校を訪問し、教室等で意見聴取を実施する。 ・スムーズに聴取が進むように、メインファシリテーターとサブファシリテーターを配置した。	7月9日（火）～ 7月24日（水）	
②	中学校3校（計19名）			
③	高校1校（5名）			
④	特別支援学校1校（5名）			
⑤	大学4校（計19名）			

2 こども等から出た意見について

テーマ① こどもが市役所へ意見を出しやすくするために必要なこと・必要な環境

対 象	小学生・中学生・高校生・特別支援学校生徒・大学生
意 見	○小学校 ・こどもだけで市役所に行けないので、今回の意見聴取のように職員に学校に来てくれれば意見を言いやすい。(月に1回、昼休みに代表委員会の集まりがあるので、そのタイミングで意見聴取を行うことが可能)【中学】 (急に大人が来ても、こどもはなかなか意見を出せないため、時間を掛けて信頼関係を築き、フランクに話ができるようになることが理想。【大学】) ・意見ポストを各学校や駅、スーパー等の身近な場所に設置し、そのポストに投函することで市役所に意見を出すことができる。【中学・高校・大学】 ・インターネット(慣れているタブレット)を利用して、意見を出すことができる。紙でも意見を出すことができれば尚良い。【中学】 ○中学校 ・学校内の掲示コーナー等にポスターを貼って、市役所に意見を出すことができることを周知する。(そもそも市に意見を出すことができることを知らない)【高校・大学】 ・「どこに」、「どのように」意見を出せば良いか分からない(そもそも市役所に意見を出せることを知らないこどもも多い)ため、SNSやハガキ等で市役所に意見を出すことができること(方法を含め)を広く周知する。【大学】 ・市役所からテーマを絞って各学校に意見を求め、学校単位(生徒会等)で意見を集約し、市役所へ回答するシステムがあれば良いと思う。 ・自分が出した意見で変わったこと(成果)が見えると、次にまた意見を出したいと思えるし、それを見た他のこどもも意見を出したくなるのではないと思う。【大学】 ・YouTubeやTikTok等のショート動画を用いて、市役所の普段の様子などを動画で紹介すれば親近感が湧いて市役所のハードルが低くなり、意見を出しやすくなると思う。 ・今回の意見聴取のように、定期的に市役所職員が学校に来てくれると意見が出しやすいと思う。 ・担任、校長、教育委員会等を通じて市役所の担当に話が入るのではなく、ダイレクトに意見を出せる環境があれば良いと思う。 ・LINE等のSNSを使ったアンケートであれば意見を出しやすい。また、協力したらポイント(商店街で使えるポイントであれば地域振興にも繋がる)がもらえる等のインセンティブがあれば尚良い。【高校・特別支援学校・大学】 ○高校 ・DMで意見を送ることができれば意見を出しやすいと思うが、その場合は匿名がいい。(Z世代は自分のアカウントを知られたくない。)

○特別支援学校

- ・対面で意見を聞いてくれる場合、優しい笑顔で対応してほしい。

○大学

- ・アンケートはタッチパネル形式で音声機能付きなら目や耳が不自由な人でも参加できる。設置場所はスーパーマーケット、駅、娯楽施設など人が集まる場所が良い。
- ・百万灯まつりなどのイベントに市またはこども担当部署として出展し、そこで意見を聴取する。市外の人もあるので、市のこども政策のPRにもなると思う。
- ・必要であれば、市職員の「大人」とこどもの間に大学生がスタッフとして加わることで、こどもが意見を言いやすくなり、また大学生の経験にもなると思う。また、複数大学の学生が参加できれば大学間の横の繋がりもできると思う。

【市役所に出したい意見】

- ・昼休みの体育館の開放（夏だとグラウンドで遊ぶには暑すぎるし、雨の日はグラウンドで遊べない。）※現状は、様子を見守れる教員の配置が難しいため、対応できない。【中学】
- ・学校から貸し出される楽器が古いので新しくしてほしい（演奏技術がないために音が悪いのか、楽器が悪いのか分からない。個人では高価で買えない。）【中学】
- ・武道場や技術室（夏場でも長袖ジャージの着用が必要）にエアコンがほしい。【中学】
- ・道端のごみを減らしてほしい。たばこの吸い殻や、空き缶、ペットボトルが落ちている。特にお祭りの後はひどい。一定区間ごとにゴミ箱の設置を検討してほしい。【中学】
- ・菓子屋横丁、大正浪漫通り、一番街等で観光客が道に広がって歩いており、とても危ないと思う。時間によって、歩行者天国があるといい。

【中学・大学】

- ・ウェスタ川越は大ホール1つしかなく、気軽に演奏できる小ホールを市内に複数個所ほしい。【中学】
- ・市民意見箱の設置場所について、駅等の人が集まる場所に設置場所を増やしたほうがいいと思う。【大学】
- ・市の事業の様々な面で多言語化が進んでほしい。【大学】
- ・大学の授業の一環で川越市の「まちづくり」について市職員と一緒に考える等、大学と川越市とで連携があれば面白い。【大学】
- ・市が施設を建設するときは住民に意見募集を行っているかもしれないが、その際に若者にも聞いてほしい。図書館の見た目が古いため、若い人が利用を敬遠してしまっている。例えば、学校を通して学生に意見を聞く等、ユーザー目線でデザイン等を考えてほしい。（役所内部の大人のみではなく、施設を使う市民を中心に考えて決めてほしい。）【大学】

テーマ② 放課後や休日に過ごしたい場所

対 象	小学生・中学生・高校生・特別支援学校生徒・大学生
意 見	○小学校 ・こどもは移動手段も限られるため、そのことを考慮してほしい。（移動可能な範囲内に居場所を設ける、又はこどものための移動手段を設ける等） ・公民館（最寄りの公民館が遠いので近くにほしい） ・ボールを使って遊べる公園等の場所がほしい。（中学校の校庭は開放されてなく、また中学生が小学校の校庭を使用することは禁止されているため、体を動かして遊べるところがない。花火ができるような大きな公園がほしい。）【中学・大学】 ・学校の施設（体育館や夏場のプール等）を開放してほしい。【中学】 ○中学校 ・複合型商業施設や屋内型複合レジャー施設などの娯楽施設がほしい。【高校・特別支援学校・大学】 ・エアコンが効いた涼しい室内で友達と集まっておしゃべりできるスペースがほしい。（商業施設の屋上の広場を使うこともあるが、夏は暑く、また雨だと使えない。クレアパークは柄が悪そうな高校生がいて、怖くて使えないことがある。また、カフェはお金がかかるし、長居しにくい。）【高校・大学】 ・自習することができるスペースがほしい。（学校の図書室は使うことができない。お茶の飲み放題があれば嬉しい。隣の人が気になるので、パーティション等で区切る等の工夫があれば尚嬉しい。Wi-Fi や電源もあれば嬉しい。リアルタイムで空き状況が分かると嬉しい。）【高校・大学】 ・各利用施設の空き状況について、アプリなどでリアルタイムにわかると嬉しい。 ・図書館で自習しても良いということを掲示板等でもっと周知してほしい。（図書館で自習してはいけないものと思っていた。） ・身近に安価でカラオケ等で遊ぶことができる場所があれば嬉しい。 ○高校 ・駅の近くで勉強できるスペースがほしい。（学校の自習室は 17 時までしか使えないから、それ以降に勉強できる場所がほしいが、図書館は遠すぎる。）（カフェはお金が掛かるし、ファミレスやファストフード店で勉強していると店員から注意される。）【大学】 ○特別支援学校 ・サッカー場 ・競技カルタを行える場所（気軽に使える畳の部屋） ・熱中症対策として休憩できる涼しい場所

- ・色々なジャンルの本が読める図書館（蔵書を増やしてほしい）
- ・複合型スポーツ施設
- ・アニメなどを扱う施設

○大学

- ・屋外でベンチではなく、腰を掛けられる階段等のちょっとしたスペースがほしい。談笑等ができる場所としての役割を果たせると思う。
- ・駅近に映画館がほしい。
- ・多世代で色々と活動（フェスやキッチンカーが出るようなイベント等）ができる広い公園がほしい。
- ・図書館にイベントブースを設ける等の複合施設化し、もっと身近に感じられる場所になったら良いと思う。

【現在の放課後や休日の過ごし方】

- ・学童保育室（1か所しかないから混雑している）【小学】
- ・家でゲームをしている（オンラインで友達と繋がっている）。【中学・高校・特別支援学校】
- ・部活動、塾や図書館で勉強、図書館で読書・習い事等をしている。【中学・高校・特別支援学校】
- ・クレアモールや複合型商業施設などで友達と遊んでいる。【中学】
- ・大学生の多くは自宅か大学かアルバイト先のどこかで過ごすことが多い。【大学】
- ・児童館やクラッセに行けば、誰か友達に会うことができる。【小学】

テーマ③ 将来について不安に思うこと、また川越市にサポートしてほしいこと

対 象	高校生・特別支援学校生徒・大学生
意 見	【不安に思うこと】 ・就職先で長く仕事を続けられるか【特別支援学校】 ・一人暮らしをうまくできるか【高校・特別支援学校】 ・自立した際のお金の使い方【特別支援学校】 ・社会人になった際に、経済的に自立した生活ができるかどうか【高校】 ・演奏者などのフリーランスの方の安定した収入の確保【大学】 【行政にしてほしいサポート】 ・生活のこと等、気軽に相談できる場所があれば良い。また、どこに相談すれば良いのか分からないので、インスタグラムやX、LINE等で発信してほしい。【高校・大学】 ・現在の川越市のホームページは、必要な情報がどこにあるのかわかりづらいので、見やすくしてほしい。【高校】 ・進路指導の際に各種相談先の紹介もあるが、難しい漢字や表現で説明されていることから生徒自身に情報として届いていない。そのため、LINE等で個別に相談先の案内が届けば、その情報を元に相談しやすいと思う。【特別支援学校】 ・社会で必要な知識を得るための講習（救急救命講習・税金等のお金に関する学習等）は中学校や高校において学ぶ機会が比較的多いが、大人になってから学習内容を記憶していないことがほとんどであるため、逆に大人になってから気軽に学ぶことができれば良いと思う。大学生になってから気軽にそのような講習を受ける場がなく、受講についてハードルが高くなっているため、大人になってからもそれらを気軽に学べる機会（大学での無料講義やセミナー実施等）を作してほしい。【大学】 ・インターンシップを希望しても、業種によっては人数が限られており、受入れてもらえないことが多い。そのため、可能であれば行政に間に入ってもらい、企業に積極的にインターンシップを受け入れてもらえるように働きかけてほしい。【大学】 ・おおよそ中高のタイミングで文系理系の選択を行うこととなるが、職種内容や研究内容によっては文系理系に縛られないものもある。そのことを含め、小学校や中学校のタイミングで人生設計を学べるような機会があれば良いと思う。【大学】 ・多様な職場体験の機会の提供（キッザニアのイメージ）【大学】 ・学生話を聞いてもらえる場を設けてほしい。（マンツーマンでのカウンセリング等）【大学】 ・奨学金を受けているが、学費の援助をしてくれたら嬉しい。【大学】 ・日本の職場文化を知りたいので、外国人留学生向けに日本で働く外国人からアドバイスを受けられる場があると嬉しい。【大学】 ・大学生や新社会人を対象とした家賃補助があれば助かる。また、そのような支援があれば川越市に住んでもらえるのではないかと。【大学】

テーマ④ 参加してみたいと思える社会活動

対 象	大学生
意 見	・ こども若者に限らず、多世代の参加者全員が同じ感覚や思いを持てるような活動やイベントであれば、みんなが参加したいと思えると思う。(例として花火大会や祭り等) ・ 地域単位でも学校単位でも構わないが、グループでの対抗戦であれば、各個人の向上心に繋がり、また団結力や一体感を身に着けることができると思う。(川越祭りの山車等) ・ 参加しやすいボランティア (時間帯や場所等の工夫) ・ 参加への何らかインセンティブがあればいいと思う。(ポイントや地域振興券等) ・ ボランティア等の社会活動に参加するかどうかは、自身のこれまでの経験の有無が大きいと思う。小さい頃に自身が経験して良いと感じていれば大人になっても(インセンティブに関係なく)参加すると思う。短期的な効果を得ることを目的とするならばインセンティブの活用、中長期的な効果を得ることを目的とするならば小さいうちから経験できるような環境づくりが必要と思われ、複合的に対応することが効果的ではないかと思う。 ・ 川越祭りでは、最近、祭囃子の成り手が少なくなっている。そのため、まずは伝統芸能(おはやし等)を体験できる等、まずは興味関心を引いて参加してもらい、そこから成り手になってもらう等、下の世代に継承していくことが必要。 ・ 日本人と外国人の学生による交流イベントの場が多くあれば嬉しい。 ・ 川越を舞台にした作品(アニメ等)とコラボしたイベントであれば、参加したいと思う。 ・ こどもがダンスや創作活動を表現できる場があるといい。 ・ 大学で音響や映像、舞台表現を研究している学生に加え、声優を目指す学生もいるため、市と大学とでコラボして、それらを活かしたイベントの実施や、PR 動画の作成等が出来れば良いと思う。学生にとっても、就職活動の際に実績としてPR できるため、良い経験になると思う。 ・ 川越まつり等のイベントにもっと若い人に参加してもらうために人気ミュージシャンやユーチューバーとコラボする等、トレンドを取り入れてほしい。 ・ TVなどで行っている企画など、こどもや若者が自分たちではできない遊びを企画してほしいし、企画したいと思う。 ・ 留学を考えている人などのために英語を無料で学べる機会や、英会話を体験できる場があるといい。 ・ 他市で大学生が小学生に宿題を教えるボランティアをしている人がいるが、川越市も同様なサービスがあれば手伝いたい。 ・ 大学生なら TikTok 等で動画を編集する技術がある人が多いので、動画制作で市とコラボできたら面白いと思う。また、こどもに撮影をお願いして、こどもならではの視点で撮影した写真を HP 等で掲載すれば他にないユニークな取り組みだと思う。 ・ ボランティアに興味のある大学生は多いと思う。単純作業だとアルバイトと同じになってしまうが、学生の経験になることならボランティアでも参加したいと思うのではないかな。

テーマ⑤ ヤングケアラー事例認知の有無、および想定される支援

対 象	大学生
意 見	・対象者の年齢に合った細やかな支援が必要だと思う。 ・解決させることも大事だが、まずは本人から話を聞いてあげることが大切だと思う。 ・こどもの社会は狭いので、ヤングケアラーであってもそれが当たり前と思っている可能性がある。そのため、ヤングケアラーの定義を分かりやすく周知し、気づきを与えることが重要であり、併せて、自身がヤングケアラーであるために失う可能性のある機会（勉強時間や友達と遊ぶ時間等）を示してあげることで、こども自身に声を上げてもらえるのではないかなと思う。 ・こども自身が声をあげるのはハードルが高いため、周囲の大人に気づきを与えることも有効かなと思う。 ・こども同士での話の中で家庭状況が見える可能性もあることから、こどもからの情報提供の受け皿も必要かなと思う。（学校の先生等）